

辰野町議会第6回議会報告会

実施期日 平成26年5月30日（金）午後6時45分から午後8時15分
実施場所 辰野町役場第6会議室
出席者 町民67名、議員14名、 合計81名

司会進行 船木議会運営委員長

(1)開会あいさつ 宮下副議長

(2)主催者あいさつ 篠平議長

(3)12月・3月定例議会等活動報告

①総務産業常任委員会 定例会審議状況・活動報告

報告者 中谷委員長

「町の観光及び商工業振興対策について」の研修会に関する報告

報告者 堀内副委員長

「新たな農業・農村政策について」の研修会に関する報告

報告者 垣内議員

②福祉教育常任委員会 定例会審議状況・活動報告

報告者 三堀委員長

③議会活性化の取り組み状況について

報告者 宮下副議長

④「広報部会」の活動について

報告者 根橋委員長

⑤議会報告会について

報告者 船木議員

⑥「道路問題検討部会」の活動について

報告者 中谷議員

⑦「議員スキルアップ研修部会」の活動について

報告者 成瀬議員

⑧「災害時における議員活動規則等策定部会」の活動について

報告者 永原議員

(4) 報告に関する質疑

【意見 1】

行政課題の取り組みは、目的をはっきり持って取り組むことが重要である。「去年はこうだった」という考えにとどまっていたのでは良い考えは浮かばない。商工会青年部での議論の様に、シャッターをしめるのではなく開けておくという考えが大事だ。観光について、現状の取り組みは点にとどまっている。ホテル、しだれ栗などについて、点から線、線を結んで面に変えてゆく取り組みが必要。高遠町のバラ園の成功は熱意を感じる。岡谷市の横川河畔の桜もよい例だ。発想の転換をしてアイデアを出すこと。プロジェクトの発足では委員を公募することを提案する。

【意見 2】

国道 153 号線について、議会においても取り組みがあるが、バイパスの実現には時間がかかる。現状での問題点について解決を図ってほしい。具体的には、旧病院前の交差点の右折レーンができたが、なお渋滞しているし、新町の三叉路は右折できるようになって却って渋滞している。見直しをしてほしい。

■ 篠平議長

まちと協議し提案していきたい。

【意見 3】

赤羽の県道予地辰野線の歩道は途中で切れている。この現状について議会ではどのように考えているか。

■ 篠平議長

10 年以上前から課題となっている。地権者に対して県、PTA、振興会、町、区などからお願いしてきたがまだ話が進んでいない。あきらめずに取り組んでいきたい。

■ 中谷委員長

地元の組織的な対応が必要と考えている。

(5) 意見交換

テーマ「豪雪・豪雨災害について」

説明 永原議員

【意見1】

中央自動車道の除雪が遅いのではないかと。10cmから15cmの段階で除雪してほしい。また、2月の大雪の際の153号線の除雪状況について、翌日の朝4時辰野をたち、夕方帰町したが、その時感じたことは、辰野町以外の除雪状況はよかったが、町内は遅れていたことだ。

■根橋議員、宮下議員、垣内議員

3月議会における豪雪関係の一般質問における論点について報告

【意見2】

生活道路の除雪については、区や近隣の住民が雪をかくことになっているが、高齢や病気で雪かきが困難になっている。また、通学路も近隣の住民が除雪することになっているが同様である。区の除雪に対する町の助成や高齢化社会における除雪体制の整備について考えてほしい。

また、万歳橋の歩道は降雪の際は危険になっているが除雪体制について伺いたい。

【意見3】

民生委員として活動しているが、高齢化、独居、老老介護などで雪かきが困難になっている。軒先から出られないケースや共同作業に出られない高齢世帯がある。各地区でどうするのか組織的対応が必要になっている。現在「支えあいマップ」があるが、個人情報保護の問題もあって、災害時に活用ができていないという問題点がある。「支えあいマップ」を災害時に活かすにはどうしたらよいのか民生委員でも考えている。議会においても災害時におけるマップの活用について考えてほしい。

【意見 4】

今年の雪害について、JAでは独自に調査し、倒壊ハウス対策について早期に資材を確保した。水稻育苗ハウスの復旧については何とか間に合わせる事ができた。被害農家への融資については無利子として実行している。今後災害の形態が多様化すると考えられるので、関係する組織の連携が大切と考える。特に情報交換での連携強化を望みたい。

【意見 5】

大雪の際は、道路が渋滞になってしまうと雪かきができなくなる。渋滞の原因の一つとして、大型トラックの8つの車輪のうち2つの車輪しかチェーンをつけていないために渋滞となったケースがある。雪道は4輪駆動車が望ましく、2輪駆動車では走行が難しい。ところが、4輪駆動車はエコ減税の対象ではなく、税制面で不利になっている。税制面での検討が必要と考える。また、雪になじみの少ない地域のドライバーに、タイヤチェーンがないと雪道の走行は困難という認識を持ってもらうことが必要なので、車販売店などでの雪道走行についての啓蒙活動が必要と考える。

【意見 6】

下辰野公園の整備をしているが、その過程で都市公園と地区公園という制度の違いにより区の負担に格差があることが分かった。具体的には、水道設備の整備において、地区公園では区の負担が重くなり困っている。何とかならないか。

【意見 7】

大城山の展望確保や日本中心の標設置、ゼロポイント関連事業に取り組んでいる。こうした事業に対して町の支援を検討していただきたい。

■篠平議長答弁

議会としても応援できることは応援していきたい。

(6) 閉会あいさつ

宮下副議長